

あすかの 原風景

平成30年度 春期特別展

高市村島荘図(部分) 明日香村所蔵

かゝるもの、
がわからないもの。

つかしい、あたらしい。かこと、みどり。時とちり
参う あすかの原風景。

PAST LANDSCAPE IN ASUKA

2018.
4/27 FRI
7/1 SUN

開館時間 月曜日(4月30日[月、振替])、5月1日[火]は開館
月曜日(4月30日)午後9時、午後4時30分(入館は4時45分)
入館料 一般270円(170円)、大学生130円(90円)
高校生及び18歳未満、65歳以上(年齢のわかるもの)は半額
奈良県(橿原市) 橿原市立橿原総合資料館 橿原市立橿原総合資料館

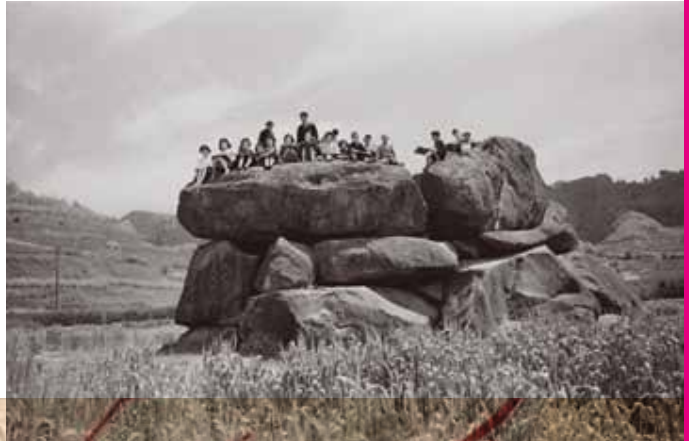
主催 | 独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館 協力 | 入江泰吉記念奈良市写真美術館 後援 | 文化庁、明日香村、近畿日本鉄道株式会社

奈良文化財研究所 飛鳥資料館



▲奈良文化財研究所「飛鳥の集落」1956年

飛鳥時代の遺跡と現代の農村の暮らしが一体となった**明日香村**には、「日本の原風景」とも言われる眺めが広がっています。この**歴史的風土**を守るために人々が立ち上がってからは、ほぼ**半世紀**が経ちました。この間、村内では懐かしい農村風景が保たれながらも、**集落の人口構成の変化**や**道路の開通**、**発掘調査の進展**や**遺跡の整備**などにより、少しずつ**景色**がうつりかわってきています。



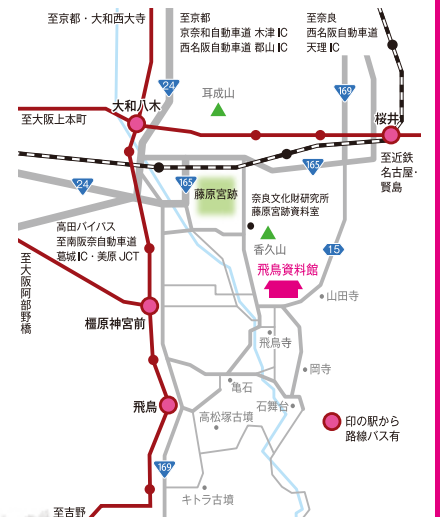
▶入江泰吉「石舞台」1951年

江戸時代から**近代**にかけての飛鳥では、**古代の石造物**や**古墳**などが**歴史家の注目**を集める一方、**飛鳥の小盆地**とその周辺には、**当時の日本ではあたり前の農村の景色**が広がっていました。**近代の地図**や、**昭和の発掘調査**時に撮影された写真などからは、**飛鳥ブーム**が巻き起こる以前の「**あすか**」の**原風景**がうかがえます。今回の**展覧会**では、これらの**地図**や**古写真**などの貴重な資料をもとに、**明治時代**から**昭和前半**にかけての**飛鳥の集落の様子**を紹介し、この**展覧会**が、かつての**村の姿**をよりかえり、**未来**に伝えていく契機となれば幸いです。

岡大字地籍図(部分) 明日香村岡大字所蔵



▲左：入江泰吉「岡寺界限」1953年頃 ▶右：入江泰吉「飛鳥寺発掘調査」1956年 入江泰吉作品は全て入江泰吉記念奈良市写真美術館所蔵



【交通案内】
 ○近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から
 ▼かみバス(周遊)「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車
 ○近鉄・JR桜井駅から
 ▼石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車
 (駐車場)無料：普通車11台分(都合により閉鎖の場合も)

●ギャラリートーク
 日時：5月1日(火)、6月2日(土)、ともに午後2時(事前申込不要/要入館料)

●ウォークイベント
 国際博物館の日 記念事業
 「古写真・古地図と歩く飛鳥」
 日時：5月25日(金)
 午前11時～午後3時30分(予定)
 事前申込制(先着順)／定員15名／参加無料
 (雨天の場合は6月1日(金)に順延します)
 入江泰吉や奈文研が撮影した昭和初期の写真や、近代の地図をみながら、飛鳥の変遷をたどるウォークイベント。

＜申込方法＞
 Eメールまたは往復はがきに以下の必要項目をご記入の上、「**展覧イベント参加希望**」と明記して、5月6日(日)までにお申込みください(往復はがきの場合は、当日消印有効)。
必要項目▼①代表者の氏名・年齢 ②代表者の郵便番号・住所 ③代表者の電話番号 ④その他の参加者全員の氏名・年齢 (一回の申込で代表者を1～4名まで申込できます)
 *お申込後、2週間程度で返信が届かない場合は、ご連絡ください。
 *メール申込の方は、@nabunken.go.jpからのメールを受信できるように設定してください。

【お問合わせ・イベント申込】
 〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601
 電話：0744-543561
 E-mail: info.shiryokan@nabunken.go.jp
 HP: http://www.nabunken.go.jp/asuka

